

大阪港BCP情報伝達訓練アンケート結果と対応

Q1 今回、訓練に使用した「港湾BCP情報連絡シート(大阪港湾局共通様式)」に改善点(内容・施設被害の報告欄等)はありますか。

- | | | |
|-------------|---|----|
| 1. 今のままでよい。 | 7 | 機関 |
| 2. 改善して欲しい。 | 1 | 機関 |

意見1	Wordによる記入の場合、文字数の増加や、施設数の増加による記載に制約が出ます。できれば、EXCELなどでの様式がありがたいです。取り纏めや、記載内容の増減に柔軟に対応できると考えます。施設の被害状況など、別紙をEXCELで作成しておくのもありかと考えます。
-----	---

⇒ 情報連絡シートの様式については、各機関が作成しやすいことが重要であり、ご指摘のとおり、word形式に加えて、Excel形式の様式も作成したいと思います。

Q2 訓練にてどの通信手段を利用しましたか。(複数回答あり)

- | | | |
|-----------|---|----|
| 1.メール | 5 | 機関 |
| 2.FAX | 0 | 機関 |
| 3.電話 | 2 | 機関 |
| 4. web171 | 2 | 機関 |
| 5.MCA無線 | 0 | 機関 |
| 6.防災行政無線 | 0 | 機関 |
| 7.衛星電話 | 0 | 機関 |

Q2-1 Q2にて回答した通信手段を利用した理由は何ですか。(複数回答あり)

- | | | |
|----------------------|---|----|
| 1 使い慣れているから | 3 | 機関 |
| 2 休日発災時に利用する可能性が高いから | 6 | 機関 |
| 3 その他 | 1 | 機関 |

意見1	職場メールによる職場内外への周知が便利であり、官携帯は情報の受信であれば取り扱いやすいが、システムの制約が多く、多数の情報の送受信に不向きです。(画面が小さい。ロックがかかっており、資料の参照ができないことが多い。)職場PCはリモートによる接続も可能です。
-----	--

Q2-2 Q2にて回答した通信手段を使用するうえで、困った点・改善が必要な点等があればご記入ください。

意見1	職場PCを介しての作業であり、事務所が停電等すると使用できません。サーバー変更に伴うセキュリティの変更など、訓練により露呈しました。複数の通信手段を持つことが災害時の強みになると実感しました。
意見2	メールでの送受信に関しては、開封確認等の機能を用いて、確実な情報連携が必要だと感じました。次回に活かしていただけますと幸いです。

⇒ 意見2について、事務局のメールアドレスは、大阪港湾局全体の災害対応にかかる様々なメールを一括して受信することから、緊急時のメールの受信数を極力削減するため、事務局から送信するメールについては、開封確認は行わないことにさせていただきます。なお、構成員から事務局あてのメールに開封確認機能を利用することについては、各構成員の判断で必要に応じてご利用いただきたいと思います。

Q3 web会議に参加するうえで困った点・改善した方がよい点があればご記入ください

意見1	WEB会議は、実際に参加し、機能を使用することが訓練と考えます。やり取りの中で、「挙手」について反応できないなど、使用頻度や、理解度の差が見て取れるため、なるべく使用頻度を上げる必要があると考えます。今後、WEB会議による情報交換や、映像、写真の情報共有などの訓練を実施したいです。
意見2	WEB会議にはスムーズに参加できました。

⇒ 各機関ともweb会議の習熟度は向上しているものの、訓練時には一部トラブルがあり、普段よりweb会議に慣れるよう努める必要があると考えます。なお、web会議で共有する情報については、今後はご指摘のとおり、映像情報等についても検討していきます。

Q4 訓練全体を通して改善点はありますか。(訓練の内容、実施方法等について、改善した方がよい点・お気づきありましたら、御教示下さい。)

意見1	メール配布、受領に対し、フィルターが邪魔をしました。 特定のアドレスが必ずシステムに引っかかります。(原因不明) 添付ファイルの無害化チェックで、1時間ほど受け取りが遅れました。 当方のシステム担当者へも指摘したが、全国規模のため、回避は難しいと考えます。 あと、Wordに不慣れな分、枠を超える場合の記載に抵抗感があります。
意見2	第2部について、実際の災害時にも全ての構成員が参加できるとは考えられないので、参加できている構成員で時間通りに開催したほうが実際の災害時に近いものができると感じました。 訓練なので仕方ないかもしれませんが、音声確認も不要ではないでしょうか。不具合等により音声のみ又は画像のみの参加となることも想定されるので、資料も画像のみで何を報告しているのかが分かるようになればより良いと感じました(字幕等)。
意見3	地震発生時に通信手段に限られる可能性があり、電話のみでの通信や災害メッセージ伝言サービスのみでの通信訓練もどうでしょうか。

⇒ 意見2について、web会議を開催するにあたり、一定の接続確認は必要と考えますが、ご指摘のとおり極力時刻どおりに開催すべきであり、接続が確認できない機関には並行して別の通信手段で連絡するなど検討させていただきます。
意見3について、訓練時の通信手段は、特に普段使う機会の少ない機器を積極的に利用できるよう訓練内容を検討します。

Q5 今後の訓練及び事務局に向けたご意見・ご要望がございましたら、お教えてください。

意見1	今回と同様に情報のやり取りを繰り返し実施することが重要と考えるが、プラスして、WEB会議ならではの情報発信などを実施しても良いのではないかと感じます。 衛星電話の使用については、事前の準備が必要であり、料金も掛かるため、情報伝達訓練では使用しにくいのが実情です。 個人的にZoom(TikTokも)は、セキュリティ的に問題があると考えており、政府機関はTeamsでの開催が望ましいです。
意見2	「大阪港BCP各担当連絡先」について、連絡先が担当(個人)Eメールのみの機関においては、当人が不測の際に機関担当部署としてメールの着信確認及び対応が出来ないため、各機関担当部署の組織Eメールアドレスの明記が必要と感じました。
意見3	大阪船主会は在阪の船主の任意団体であり、各会員への強制力をもたず、情報共有の機能のみしかないとご留意ください。
意見4	次回は今回と異なる通信手段で訓練に参加してみたいと思います。

⇒ 意見1について、今後は映像情報の共有等の訓練内容についても検討します。
意見2について、災害時には確実に組織と連絡がとれることが重要であり、ご指摘のとおり緊急時の連絡先について、組織メールを所有する機関については、個人メールに加えて組織メールも緊急時の連絡先に加えるようにしたいと思います。